

## 将来への提言

2003 年度インカレショート実行委員長  
宮佐俊佑

日本学生オリエンテーリング選手権ショートディスタンス競技大会実施規則第12条に従い、以下に『将来への提言』を記します。

### 1. インカレの継続的開催

今回、あのような素晴らしい山林でインカレを開催できましたのは、地元栃木県矢板市・塩谷町の方々のご理解とご協力があったからです。学生側もそのことを理解して頂けた模様で、大量宿泊という形で地元の方々にご恩をお返しすることができました。今回の件を地元の方々との良好な関係を築く第一歩として、この地区で今後もインカレ開催ができるよう配慮してってください。

### 2. 大会の方向性

近年の学生オリエンティア減少の影響で、採算面からインカレ単体での開催はかなり厳しいものとなっています。そのような現実から、今回のインカレでは前日大会を開催し、かつ、トレイル0を前面に打ち出すことで、新たなニーズを発掘する大会を目指しました。また、運営面でもトレイル0研究会の方々に前端的に協力して頂きました。今後もインカレ開催を続け、さらなる盛り上がりを図る為には、このような学生以外の一般オリエンティアや地元の方々へも開けた大会を目指す必要があると思います。

### 3. 運営者としてのインカレ参加

今回の実行委員会をあえて若手主体で組織しました。一部の熟練者に偏りがちな運営ノウハウを引き継ぐことが主たる理由でしたが、卒業し関わりを持たなくなる学生出身オリエンティアに少しでもオリエンテーリング界から離れていくのを防止できればとの思いもありました。インカレは確かに学生の為の大会ですが、学生と一般オリエンティアをつなぐ場にもして欲しいと思います。

### 4. インカレの主催は学生

今回参加された皆様は、本大会の印象をどのようにお持ちになったのでしょうか。大会当日だけでなく、その準備過程も含め、様々なご意見・ご感想があるのではないかと思います。是非、そのような考えを周りの人達とぶつけ合い、次のインカレに反映すべくアクションを起こしてください。当然、当実行委員会としての反省、引継ぎは行いますが、実際参加された方々の考えが、より良いインカレへ変える為のエネルギーになるのです。インカレは皆さん学生が主体となって開催する大会ですよ！